



## 商品検査室だより

4 月度

中国産の「うなぎ蒲焼」について



### お申し出

中国産の「うなぎ蒲焼」って、  
どんな検査してるの？

### 検査室からの回答

取扱いに先立ち、パルコープ職員が現地でも視察・点検を行いました。また取扱い開始後も、パルコープで加工前に原料うなぎの検査を実施し、お届けします。

- ①中国の台山市の養鰻池（うなぎの養殖池）で出荷時に検査（合成抗菌剤の有無・残留農薬）を行います。
- ②その後、中国からの出国時、および輸入時に公的検査を行います。
- ③輸入された原料は川口水産を経てパルコープ商品検査室に持ち込まれ、残留農薬検査・微生物検査（大腸菌など食中毒に対するもの）・動物性医薬品検査（合成抗菌剤の有無）を行い、問題が無いのを確認したうえで加工されます。
- ④でき上がった商品ごとに、どこの池で養殖されたかまでトレース（追跡）が可能です。



中国での検査風景



うなぎの養殖池

〈4月度検査状況(18.3.21~18.4.20)〉 【商品検査のとりくみ】 商品検査数 1746件（前年同月1703件）

検査の種類	検査件数	注意品	内容と結果
微生物検査	1070	12	注意品については再検査、継続調査を実施しましたが、商品回収・人体危害にかかわる不適合はありませんでした。
残留農薬検査	74	なし	問題ありませんでした。
理化学検査	369	なし	問題ありませんでした。
残留放射能（放射性物質）検査	50	なし	生鮮・一般食品を検査し、全て検出はありませんでした（検出限界値は各20ベクレル/kg）。
輸入食肉検査	36	なし	問題ありませんでした。
外注検査に出したもの	2	なし	問題ありませんでした。
その他*	145	なし	問題ありませんでした。

【商品の相談受付状況】 241件（前年同月257件）

※その他…店舗・福祉施設の設備の衛生検査など

人体危害（腹痛下痢、スキントラブルなど）での、複数発生商品ははありませんでした。

### 〈お詫び〉

前号のこのコーナーで紹介した「微生物検査」の実施内容を正確にお知らせします。

「食中毒菌（腸管出血性大腸菌、サルモネラ菌、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオなど）の問題がないか検査しています」

## 組合員さんの声にこたえて

パルコープでは、組合員のみなさんから寄せられた声を、商品や運用の改善にいかすと取り組んでいます。ホームページでもご覧ください。  
<http://www.palcoop.or.jp/blog/koe/>

### 「阿蘇やまなみ牛乳1000ml」が キャップ付き包材に変更します

以前あった“キャップ付きの牛乳”を復活してほしい。冷蔵庫に入れる時も横向きで直せるし、使いやすいのでぜひお願いします。



【回答】 小さいお子さんや高齢の方からの「牛乳パックが開けづらい」というご要望や「冷蔵庫内での横置き保管ができるようにしてほしい」という声にこたえて、『阿蘇やまなみ牛乳1000ml』が6月3日よりキャップ付き包材になって新登場します。製造の熊本県酪農業協同組合連合会で新しくキャップ付き充填機を導入したため実現できました。（商品部 日記担当）

お声をいただいた組合員さんは、牛乳を週に3本利用されています。今でも冷蔵庫内の置き場所に苦労しているよう。企画実現をお伝えすると「出たらすぐに言って！そっちに変更するわ!!」と喜んでくださいました。



南寝屋川支所  
配送担当 西野さん  
(写真は西野さんと  
組合員さんの息子さん)

### 阿蘇やまなみ牛乳 1000ml 冷蔵

企画回:毎週企画

本体 218円  
(税込 235円)

キャップ付き  
で登場するのは  
次週【6月3回】から

※リサイクルなど詳細は  
6月3回の別チラシを  
ご覧ください。

